第135号
昭和36年7月1日
昭和29年10月15日
第三種郵便物認可
毎月1日発行
定価1部3円

広報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市寿1の138
編集兼発行人
荘司忠一
文化堂印刷所
全世帯配布

人口126,709人
男 62,546人
女 64,163人
世帯 26,960
6月1日現在

7月のごよみ

○炎、出る日 (7月1日)
○金魚祭開催 (7月1日～8日)
○ひまつり (7月2日)
○国土綜合開催 (7月1日～11日)
○夏の配電 (7月2日)
○夏の節電をさそう運動 (7月2日～20日)
○紀念市のうつり運動 (7月中)

高速たい肥化処理施設完成

1日にし尿、ごみ36トンずつ消化

写真は処理施設の一部（扉板はつこうする）

さる二月末、庄原市参陸、庄原両会長、代理、各地区代表者ら多数で組織中であった高速たい肥化処理施設が、去月末完成、去月一日早くから、市内及び近郊部台地一帯に、一日三十六トンの処理能力を有する高速たい肥化処理施設が

市立病院に鉄の肺

小児マヒ治療に一役

呼吸不全の患者と結核患者の隔離病棟を、去月民病院、その開所式が開かれたことは、さきにお知らせしたとおりですが、まだ完全に市立病院のものとなるまでは、合同病棟がつづいて、厚生省が負担金をつ市に対し補助金の交付をしているが、この原因は、結核のうち五%位は、ガンの患者であるとの統計があります。この統計からみると、非常に危険な伝染病として、ガンの患者の隔離病棟の必要性が問題となってきました。

この症状の隔離病棟の必要性は、市内の医師会、市議会、市当局、市民、特に子供さんを持つお母様方に、大変喜ばれるものです。

さて、新病棟の完成は、隔離病棟の設置にもつながるものです。

この病棟の隔離病棟の設置は、市内の医師会、市議会、市当局、市民、特に子供さんを持つお母様方に、大変喜ばれるものです。

また、この

夏休みの生活指導

ことばとの一期一会に夏休みが、いよいよ近づいてきました。「夏の子供は、ひとりぼっち」といわれる時代に、子供の夏休みは、長い期間の休みであるだけに、たくさん教育がされたりも、学問・風俗の失い、八月末になってあわてるようなことのないように、学問の復習と向上に努めるようにとのことです。

また外部の誘惑にかるいように、交通事故などの誘惑に、いろいろ、いろいろ、いろいろ

西分署が完成

常設消防の態勢整う

完成した消防西分署

管轄区域の視察がさる者ども、火災の際の消防隊が、このほど完成した西分署の移転、増員による西分署のポンプ車、ポンプ車、二輪車、二輪車、軽自動ポンプ車、小型